

「地域共想プログラムー地域想いびとがつくる 東北・新潟の未来ー」に係る活動報告

1. 地域共想プログラムの概要

「地域共想プログラム」(以下、「本プログラム」という)は、東北電力㈱が東北・新潟地域の社会課題解決や持続可能な発展への貢献などを目的に、産学官金の連携により、東北・新潟地域の社会課題解決に取り組む成長意欲のある社会起業家を支援・育成する制度で、本年度(2025年度)創設された。

本プログラムでは、支援先として採択された団体が、約半年間にわたり専門家による講義やワークショップへの参加を通じて、事業のブラッシュアップおよびソーシャルインパクトの最大化に向けて取り組む。

さらに、採択された団体の中から、最優秀賞1団体(賞金200万円)、優秀賞1団体(賞金100万円)を選定し、支援を行っている。

2. 支援先団体および受賞団体の選定と東北活性化研究センターの役割

支援先団体および受賞団体の選定過程は、次のとおり。

東北電力㈱では、2025年6月26日から8月3日までの期間で本プログラムの公募を実施した。その結果、東北6県および新潟県の各地より計52団体から応募があった。

当センターは、東北6県および新潟県の地域活性化に関わる公的な機関として、支援先団体

および受賞団体の選定に協力した。

具体的には、1次審査(書類審査、8月4日～8月22日)で支援先候補団体を選定した後、2次審査(オンラインによるヒアリング審査)を松嶋常務理事が出席して実施した。1次・2次審査結果を踏まえて東北電力㈱が支援先として8団体を採択した。

なお、1次・2次審査は、当センターおよび一般社団法人IMPACT Foundation Japanが合同で実施した。

さらに、3月6日の最終成果発表会には、木村専務理事が審査員5名の一人として出席し、8団体の中から最優秀賞および優秀賞を選定した。

3. 2025年受賞団体の紹介

最終成果発表会において、「株式会社バンザイファクトリー(岩手県大船渡市)」の事業が最優秀賞に選定され、「株式会社未来企画(宮城県仙台市)」の事業が優秀賞に選定された。

各受賞団体の事業概要は、表のとおり。

最終成果発表会 受賞結果

最優秀賞 (賞金：200万円)

団体名 (活動拠点)	株式会社バンザイファクトリー (岩手県大船渡市)
事業概要	椿による生産活動を三陸地域の障がい者施設や高齢者、生活に課題を持つ人々と共に行い、それを原料に椿茶を製造・販売し、地域に循環と雇用を生み出す。

優秀賞 (賞金：100万円)

団体名 (活動拠点)	株式会社未来企画 (宮城県仙台市)
事業概要	介護や障害福祉、飲食など複数事業を掛け合わせ、人材確保と収益性を補完し持続可能性を高める。福祉複合施設「アンダンチ」のように地域に福祉を開き、地域づくりと雇用創出に貢献する。

地域想いびと賞^{※1} (賞金：50万円)

団体名 (活動拠点)	株式会社 Kokage (福島県双葉郡川内村)
事業概要	土地の固有植物を活用したクラフトジン製造を軸に、宿泊や飲食、再生可能エネルギーと連動させ、滞在体験を通じて地域循環の仕組みを形づくっていく。

団体名 (活動拠点)	一般社団法人はまのね (宮城県石巻市)
事業概要	牡鹿半島でのフィールドワーク研修を通じて一次産業の実態を伝え、課題を自分ごととして捉える人材を増やす。気候変動やネイチャーポジティブに取り組む担い手を地域から広げていく。

※1：会場・オンライン参加者の投票により2団体を選出。



(出所) 東北電力(株)公表資料をもとに作成。